

令和5年度の活動について

会報こづか

日頃より、当協議会にご協力いただ
き感謝申し上げます。令和5年度につ
いてですが、5月の連休明けから新型
コロナウイルスの感染症法の取り扱い
が、2類から5類に移行して市が定め
る振興、センターの利用制限は解除され
ました。しかし、引き続き自主的な感
染症予防対策が求められており、3密
の回避等が有効とされていますので、
飲酒を伴う集会等は控えて頂くようお
願い致します。

これからは、スポーツ行事やお祭り
等も基本的に3年前と同じような状態
で開催することを目指しております
が、まだまだ感染症が再発しないよう
に注意しながら気を付けて行動しなけ
ればなりません。

「早起きマラソン」も3年間お休み
しましたが、積極的な健康増進のため
5月14日から再開しました。今年度か
ら初日と最終日を除いて、月曜日から
金曜日までの平日のみの開催になります

花北地区「ミユーティ協議会 会長
高橋 修



早起きマラソンのラジオ体操

したので、気軽な気持ちで参加してください。6時15分からラジオ体操をしその後のランニングや歩くのは自由です。

したので、気軽な気持ちで参加してください。6時15分からラジオ体操をしその後のランニングや歩くのは自由です。

たいと思
います。

これからは、スポーツ行事やお祭り等も基本的に3年前と同じような状態で開催することを目標にしておりますが、まだまだ感染症が再発しないように注意しながら気を付けて行動しなければなりません。

「早起きマラソン」も3年間お休みしましたが、積極的な健康増進のため5月14日から再開しました。今年度から初日と最終日を除いて、月曜日から金曜日までの平日のみの開催になります。

のが大変だと思いますが、積極的に取り組みましょう。

当協議会の文化祭や研修などの事業も、より多くの方々に参加いただくよう働きかけてまいりますので、ご協力をお願いします。

口ナ禍のここ数年間は、「例年通り」とは、いかなかつたようで、紙面作りに大変な努力をしてきたようです。コロナが5類に移行したことで、コニユニティの事業も再開される見込みで、その内容を紹介できることもあり、少しは紙面作りの苦労は緩和されるのかなと思います。

各部会より

部会長
菊池善明

今年度、新たに部会長を務めることになりました小舟渡の菊池です。

5月の第1回目の部会では、副部会長に戸来昭男さん（四日町一丁目-1）書記に小原英二さん（四日町三丁目）を選出し、今年度の部会運営を協議し決定しました。私を含め、3分の1弱

報「こぶし」の作成方法や原稿依頼の仕方、各号の編集委員の決め方、「地区だより」の作成順などの説明を受けました。ある程度は理解できましたが、これらの紙面作りの過程で困惑することがでてくるのではと一抹の不安を

38号と年間3回発行する予定です。コ
今年の会報「こぶし」は第36号・37号
経験豊富な方々に支えられながら進め
感じています。しかし、昨年度までの
ていければいいのかなと思っています

◆生活環境部会

部会長 中園教一

住みよい明るい地域づくりを目指し
地域の皆様、日頃は生活環境部会活動へのご理解、ご協力頂き誠に有難う
ございます。

新型コロナも終息までは至ってないですが、街中、そして生活環境部会の主な活動拠点となつていて花北振興センターに隣接する「愛宕公園・グラント」にも子供達の賑やかな声が多く聞

こえるようになり、活気も戻りつつあります。今年度も子供達・グランドを利用する方達が安全に気持ち良く利用出来るよう、部会一同取り組んで参ります。

さて、2年前にSDGs（持続可能な開発目標）について紹介しましたが、今ではメディアを通じてよく耳にします。その根本理念である「誰一人取り残すことなく、安心安全で幸せに暮らせる明るい地域づくり」を目指し、今では国・自治体・企業のみならず、私達の日常生活や地域活動においても意識的な取り組みが行われているのではないかと思っています。

その中で環境保全活動としての各地区における資源のリサイクル活動への取り組み、ロシアのウクライナ侵攻に端を発したエネルギー・物価の高騰などを機に、家庭での省エネ・廃棄物・特に食品の無駄・ロス削減への取り組みなど、これらもSDGs実現への具体的行動ではないかと思いま

プランターの花苗植え

る啓蒙活動などにも拘らず、以前としで地域の課題でもあります。分別されず搬出されたゴミは委託業者の方では回収しないため、地区の担当者や当番の方が分別しているのが実情です。ゴミ袋の開封分別は不衛生であり、中には危険を伴うこともあります。地域の皆さんと一緒に、これらの課題解決にも取り組んで参りますから本年度もうぞよろしくお願ひします。

◆ 教育文化部会

部会長 松田廣邦

令和5年度の教育文化部会活動

今年度の部会の活動についてお知らせします。新型コロナウイルスの感染もようやく落ち着き、今年度は制限を設けない形での取り組みが出来るものと思います。事業は基本的に次の4項目について進めて参ります。

1、初夏及び秋の盆栽を楽しむ会

2、花北地区文化祭・ステージ発表会

3、花北文化講演会（新春花北寄席）

4、花巻市民憲章大会への参加

「盆栽を楽しむ会」については、日

本の伝統芸術ということもあり毎年新

しい方が応募されております。内容は、

出来るだけ参加しやすい環境というこ

とで初心者でも手を掛けやすいように

台木等を提供し講師からの説明と共に

参加者の親睦を深める場としています。

ベテランの方は新しい方へ手解きをさ

れ和やかな雰囲気となっています。ま

た、文化祭には受講生の作品も展示し

一般の方の関心を集めています。緑の木々や草花も対象としていることから小物盆栽は多くの方から共感を得ているようです。「花北地区文化祭等」については、特別な制限が無くなつたことで応募の気運が高まる 것을期待したいものです。文化祭は花北地区の芸術文化の発展を目指し多方面からの作品展示を期待しているものです。「文化講演会」については、昨年から花北寄席を開催し日本の話芸、講談と落語を楽しんでいただいております。今年度も新春寄席を企画しておりますのでお楽しみに。「花巻市民憲章大会」については、内容が地域の功労者の表彰と講演になつてますが、この講演が普段滅多に聞けない「ちょっとといい話」になつています。限られた役員のみならず一般の方にもお聞かせしたい内容です。以上が各項目の概要です。どうか地域の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

◆ 保健体育部会

部会長 牛崎 弘

4月27日、第1回目の保健体育部会

が持たれ、令和5年度の体育部行事が決まりました。

3年間、コロナウイルス感染症のため、中止となつておりましたが第2類から第5類に移行した事から、ようやく行事が行われる状況になりました。

しかしまだ完全に収まつたわけではな

いので感染予防の対策をして、大会に

臨みたいと思います。

行事の内容は3年前と同じ競技でソフトバレー大会、グランドゴルフ大会、ソフトボール大会、ニュースポーツ大会です。

ソフトバレー大会は、参加する皆様の地区から審判のできる人を帶同していただき、大会を運営して行きたいと考えております。グランドゴルフについては、選手全員の自己申告という形になつております。ソフトボール大会については、ソフトバレーと同じ形式で各チームから審判2名を出していただき試合に臨んでいただきます。ニュースポーツについては、保健体育部会全員で種目審判をつとめ、実施したいと考えております。以上令和5年度、保健体育部会の行事に対する取り組みについてお知らせいたします。

4月の総会で、再度地域安全部会長に選任にされました四日町二丁目の松田です。

5月の第1回部会では、松田富彦副部長（四日町二丁目）太田亘書記（一市）を選出し、今年度の事業計画を協議し、確認等を行い決定しました。事業活動内容を紹介いたします。

1、防災用携帯無線交信訓練

毎月11日を「防災の日」と設定し、拠点避難所（花北振興センター）と各地区相互の交信と訓練

2、防災用携帯無線機保守点検講習会

防災用携帯無線機の保管場所と取り扱い説明、バッテリー寿命、通信工具メンテナンス等の説明の講習会を開催する

3、講習会の開催

心肺蘇生法やAEDの使い方、ケガの応急手当

4、秋の交通安全施設点検啓発活動

花巻神社鳥居前で、「早めのライト点灯」啓発活動

5、交通安全施設点検

各自治会単位で実施

昨年は、コロナ禍ではありましたがあまり計画通りに事業を運営できました。ただ、一つ心肺蘇生法やAEDの使い方の講習会は消防署の都合で実施できませんでした。今年こそはその講習会を行えるものと思います。また、「花北地区文化祭」の会場準備や後片付け等の応援・支援も行います。

花北地域の安全を願いながら事業を進めて参りますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

今年の自治会活動 地図だより

桜台自治会 副会長 伊五澤繁喜

桜台自治会は、700世帯1500人ほどで運営されています。この地域は、昔は農地や原野だったそうですが、宅地化が進み今は殆どが

住宅地で、農地は日々減っています。また、数年前までは子供がたくさんいましたが最近は減少傾向にあり、反面、高齢化が進んでいるなど、新たな課題も見え始めている状況にあります。

この様な中、5月14日(日)に今年度の総会を開催し、事業方針を「今、何が行えるか、何を行うべきか、何をやめるべきか」その都度検討しながら、今後とも町内の親睦交流を深め「安心・安全」の住みやすい街づくりを目指すとしました。

今年度の地区行事の一つが「桜台夕涼み会」で、8月5日(土)に3年ぶりに開催することにしましたが、物価高騰等によりこれまでどおりの開催は難しく、工夫・見直しして開催する予定です。また、花巻祭りに小学生及び中学生神輿を参加させたいと考えましたが、子供の人数が少ないためパレードへの参加は困難であることが判明しました。

しかし、花巻の文化や風習を知る機会をつくることも必要との思いから、形を変え何らかの方法で神輿運行が出来ないか考えることにしました。そのほかレクリエーションの開催や各部会の独自の取り組みも予定されています。

いずれも新型コロナによる3年間に及ぶ感染対策や行動抑制の影響で経験が十分に継承されていないので、これまでの知識と新たなアイデアを融合させながら、皆で楽しみながら取り組むことが必要と感じています。

今回は小舟渡自治会の活動状況をご紹介します。構成は三役の自治会長・副会長・会計・書記、また小舟渡地区は約840世帯の大所帯のため地区を3つに分割し会長補佐の第1～第3ブロック長、事業部は、総務部・行事部・体育部・衛生部・女性部・防犯部・公民館の7事業部で、このメンバーで自治会活動にあたっております。【4月】初旬『通常総会／自主防災会総会』今年度も書面議決となり、5月1日号の自治会報で書面議決結果報告をしております。【5月】中旬『地区民大運動会』コロナ禍前は幼児から年配の方

小舟渡自治会活動状況

上小舟渡 藤沢 茂



令和元年度神輿パレードの様子



令和元年大運動会
競技場所
の鳥谷ケ
崎公園が芝生整備されたため、これまでとは違った内容で来年以降実施すべき内容検討中です。【6月】初旬『自治会／各種団体との懇談会』地域内の連携・協力・要望などの懇談会です。【8月】初旬『夏まつり』自治会主催、小中PTA共催で行う例年400人程が参加する一大イベントです。令和元年は、ニュースポーツ交流（グランドゴルフ・ペタンク・輪投げ）、PTAによるゲームコーナー・射的・カタヌキ・スーザンボールすくい・かき氷・花火大会、自治会による焼きそば・焼肉・焼きホタテ・飲み物の提供が行われました。今年も実施予定です。【9月】

中旬『敬老会』家庭・社会にご尽力頂いた方に感謝を捧げ健康・長寿をお祝いし対象者全員（昨年は283人）に、古希の方に記念品をお渡ししています。大福・赤飯・タオルを百寿・米寿・喜寿・

【1月】初旬新年交賀会【3月】初旬年

まで300人以上が参加し、趣向を凝らした競

りで盛り上げりました。今年も中止でしたが、

度末まとめ」各事業部で事業内容を「事業報告書」にまとめて活動を総括し、次年度の年間計画表を作成します。この内容は総会資料にまとめ、地区民の方に承認を頂きます。その他、慶弔(入学祝い・20歳のお祝い・弔意)、自治会報の発行(1ヶ月回)、各種スポーツ大会等への参加、新川清掃の支援、ゴミ集積所の維持管理、生け花教室、危険場所の点検、防犯パトロール、公民館活動(花壇の管理・苗植え・草取り・花巻人形作り・講演会)など、地域住民の親睦を図り住みよい地域づくりを推進するため、役員一同奮闘しております。



令和元年敬老会

しかし全国の賢治ファンや観光客が毎日のように「イギリス海岸」を訪れます。駐車場には、県外ナンバーの車が駐車しているのを目にしてしまいます。遠くは北海道や四国の徳島県、九州の宮崎県のナンバーも見たことがあります。また、小舟渡地区民にとって愛犬との散歩やジョギングを楽しんでる憩いの場所になっています。

イギリス海岸周辺の散策路や遊歩道及び花壇の整備や駐車場の整備工事を20年以上前に行つたと伝え聞いています。この工事が終わると同時期ごろ誕生したのが「ドーバーファーム市民の会」です。結成されたのは2001年でした。会則があり、第3条の目的には「本会は、イートアーバンの風景地として国の名勝地に指定されたイギリス海岸の原風景を維持し観光地にふさわしい観光整備に努め、訪れる人をおもてなしする。」とあります。

ドーバーファーム市民の会では、今も散策路周辺の草刈りを年4回以上、草取りやゴミ拾いなど週1回以上行っています。また、「銀河鉄道の夜」にてくる賢治がイメージしたイギリス海岸を天に移した「プリオシン海岸」にちなんだ「プリオシンコースト花壇」に花を植えて訪れた人々の心に潤いをもたらすなどの活動も行っています。かつては、紫陽花やつつじを植える活動も行つたと聞いています。(その活動は現在は停滞しています)。

さらに、ゴールデンウイーク期間やお盆期間、賢治の命日を中心として、5月と8月と9月の各月の5日間「イギリス海岸の写真・パネル展」と題して、昔の泥岩層が見られた時期の写真やイギリス国旗などを掲揚したり、パンフレットを見せながら、訪れた人々に対し説明したりするおもてなし活動を行っています。



写真パネル展

◆編集後記

コロナの感染法上の分類変更で、日常の生活が少しずつ元に戻ってきました。各地域の活動も制約が減り、活発になる事と思います。

今回もお忙しい中、ご寄稿していただきた皆様に深く感謝申し上げます。

(編集長 藤沢 茂)